

地球科学輻合ゼミナール

(2014年度 前期 第12回)のご案内

よい論文を出す Publishing quality scientific papers

上出 洋介
名古屋大学名誉教授

この10年間、日本発の論文数、被引用数が減り続けています。この嘆かわしい傾向は、世界の先進国では日本だけで起きている深刻な現象です。加えて、次々と発覚する論文の不正（データの捏造、改竄、盗作、二重投稿、コピペ）は、科学に対する国民の信頼をなくしています。

講演者は、主要国際学術専門誌のエディターを長年にわたって務め、その経験を基に、学生、若い研究者向けに、よい論文の書きかたを指南した新刊を書き下ろしました（*）。この本は、今までの類書と趣を異にし、エディターの経験を生かし、「裏側からも見た」論文審査に勝つコツを伝授しています。含まれる話題は：

研究の最終成果は論文で評価される／良い論文、悪い論文とは／論文数、引用数と年齢の関係／論文の審査（査読、レフェリー）／論文不採択の四つの理由／共同論文の問題点／英語で論文を書くということ

7月16日(水) 午後4:30～午後6:00

場所：理学研究科6号館 303号室

学生や若い研究者が次の事項を再確認し、論文発表の大切さと倫理感を認識することが期待されます。

研究発表の重要性「なぜ論文を書かねばならないのか」／論文不正は研究不正／ピアレビューpeer review の重要性／国際的視野の回復

(*) 「国際誌エディターが教えるアクセプトされる論文の書きかた」、丸善出版、6月1日刊、2000円(税別)

